

間接法による吃音訓練法 オンライン研修会（基礎編）

間接法での吃音のとりえ方、理論を学びます。また、実際の臨床の進め方について、環境調整法とメンタルリハーサル法を解説します。これから間接法による吃音訓練を実施したい臨床家のための基礎講座です。

○日程：全2回 ※すべての日程にご参加いただける方にかぎりさせていただきます。

① 2025年9月6日（土）②2025年9月7日（日）

○定員：90名（先着順）

○開催形式：ZOOMによるオンライン開催

（リアルタイム配信のみ。専用フォームへの質問投稿にお答えする形で質疑応答も行います。）

※オンライン配信に関する詳細は、振込の確認後、申込時に記載いただくE-mailアドレス宛に送信します。

○対象資格：言語聴覚士

※当研修会の参加については、守秘義務を十分に理解していることが前提となりますので、言語聴覚士として臨床活動を行っている方を対象とさせていただきます。

○参加費：全2日間 15,000円（事前支払い。振込先は申し込みいただいた後にご連絡します。）

※ご希望の方には領収書（適格請求書（インボイス）非対応）を発行致します。

※RASS吃音研究会のHP会員の方の再受講は5000円となります。申込専用フォームに会員である旨を必ず明記してお申し込みください（申込時に申し出のなかった場合は割引ができませんのでご注意ください）

○申込方法：申込専用フォームよりお申し込みください。

所持資格、所属機関等の登録のほか、守秘義務に関する参加規約にご同意をいただきます。

※申込専用フォームは、6月中にホームページ(www.rass.jp)内に掲載します。

○プログラム （時間割の実施順や時間配分は変更になる可能性があります）

2025 年 9 月 6 日（土）10:00～17:00（受付開始 9:30 昼休み 12:40～13:30）

10:00～12:40 ※10 分程度の休憩あり	13:30～17:00 ※10 分程度の休憩あり
1. 吃音の進展と吃音児者の行動 ①症状の発生は頭の中、症状の種類 ②進展段階ごとの吃音児者と周囲の者の行動 ③悪循環 ④Van Riper の吃音の悪化要因 ＜休憩＞ 2. 環境調整法 ①外的環境と内的環境 ②環境の調整とは ③言語環境と養育環境の内容 ④感情、意思、発話、行動の表出	3. 環境調整法の流れ ①情報収集 ②評価の対象の枠組み ③指導内容 ＜休憩＞ 4. 自然で無意識な発話への遡及的アプローチ（RASS） ①遡及的アプローチとは ②自然で無意識な発話行動の顕在化 ③吃音に対する否定的価値観からの脱却 5. 質疑応答

2025 年 9 月 7 日（日）9:30～16:50（受付開始 9:00 昼休み 12:40～13:30）

9:30～12:40 ※10 分程度の休憩あり	13:30～16:50 ※10 分程度の休憩あり
1. 年表方式のメンタルリハーサル法（M・R 法）の枠組み ①実施する事項と禁止事項 ②映像法 ③過去から実施 ＜休憩＞ 2. M・R 法の技法 1 ①臨床の流れ ②情報の収集 ③評価	3. M・R 法の技法 2 ①対立内容の作成と注意事項 ②対応するエピソードの順番 ③対立内容の作成演習 ＜休憩＞ 4. M・R 法ミニ体験 紹介と演習 5. 質疑応答

○テキスト「間接法による吃音訓練」（都筑澄夫編著 三輪書店）は各自ご購入のうえご参加ください。

※配布資料は別途ダウンロードしていただきます。

○講師：都筑澄夫（RASS 吃音研究会代表/都筑吃音相談室）

○主催：RASS 吃音研究会(www.rass.jp)